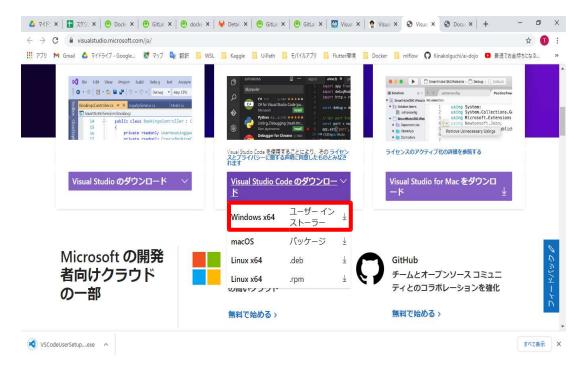
2) VScodeインストール

【参考】

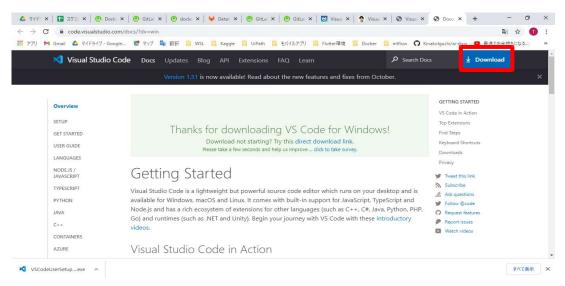
Visual Studio Code のダウンロード、インストール、日本語化と、Python 拡張機能のインストール https://www.kkaneko.jp/tools/win/vscode.html

①VSCodeダウンロード

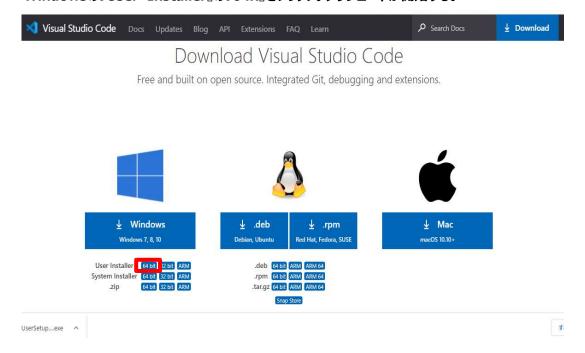
『Visual Studio Codeのダウンロード』を選択し、『Windouws x64』をクリック。



右上の『Download』をクリック

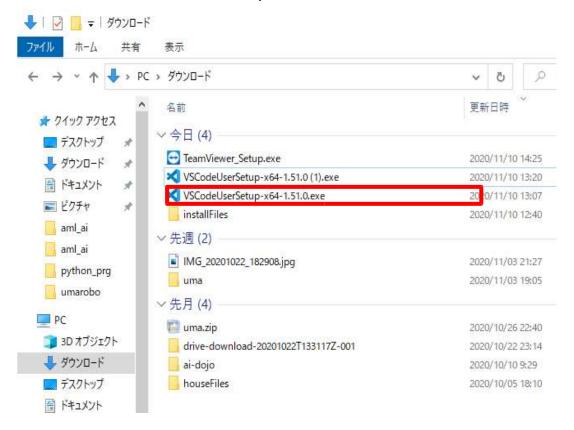


Windowsの『User Installer』の『64x』をクリック。ダウンロードが開始する。



②VSCodeインストール

ダウンロードフォルダの『VSCodeUserSetup-x64-1.51.0.exe』をダブルクリック



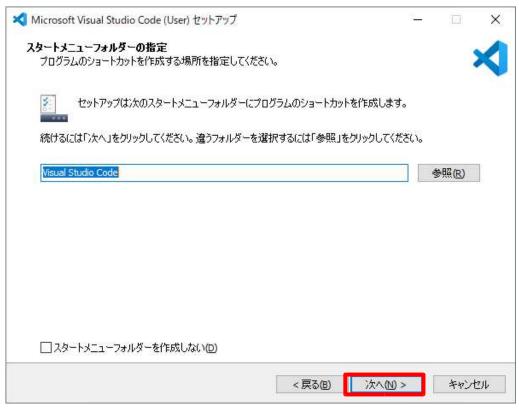
使用許諾契約書を確認する。同意できる場合は『次へ(N)』をクリック



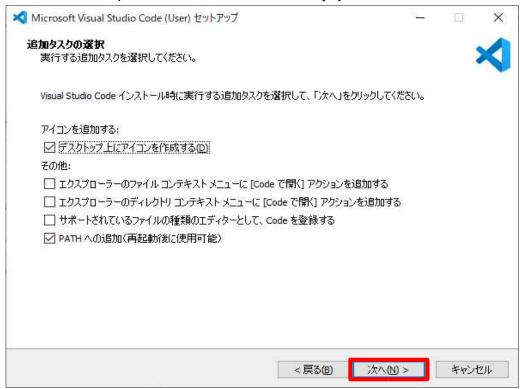
インストールディレクトリ(フォルダ)の設定は、既定(デフォルト)のままで『次へ』をクリック



スタートメニューフォルダの指定は、既定(デフォルト)のままで、『次へ(N)』をクリック。

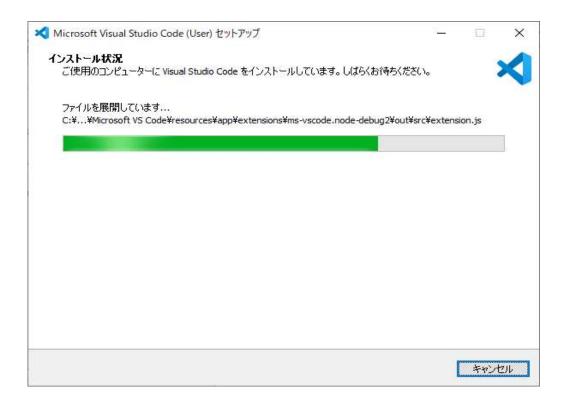


追加タスクの選択は、既定(デフォルト)のままで、『次へ(N)』をクリック。



「インストール」をクリック





インストールの終了を確認し、『完了』をクリック

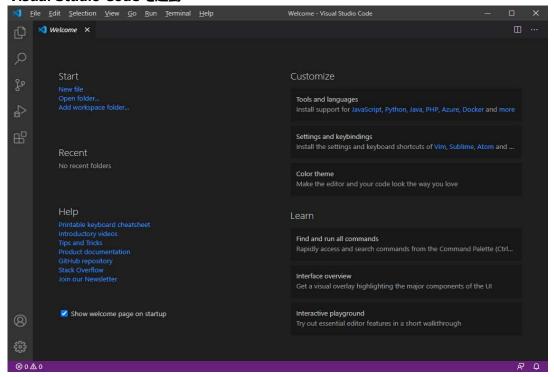


③VSCode 日本語化

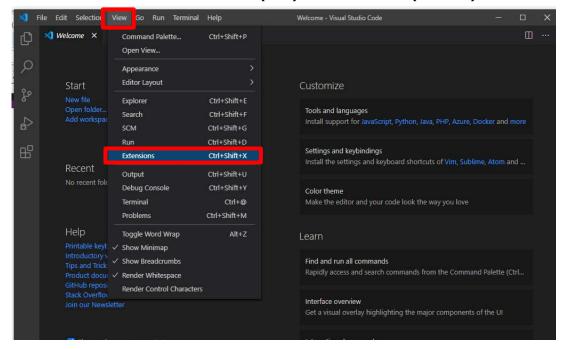
(Japanese Language Pack for Visual Studio Code 拡張機能のインストール)

※デフォルトが英語表示になっているときは、次の手順で日本語化する.

Visual Studio Code を起動



拡張機能をインストールしたいので、「View (表示)」→「Extensions (拡張機能)」と操作する



検索窓で「japanese」と入力。

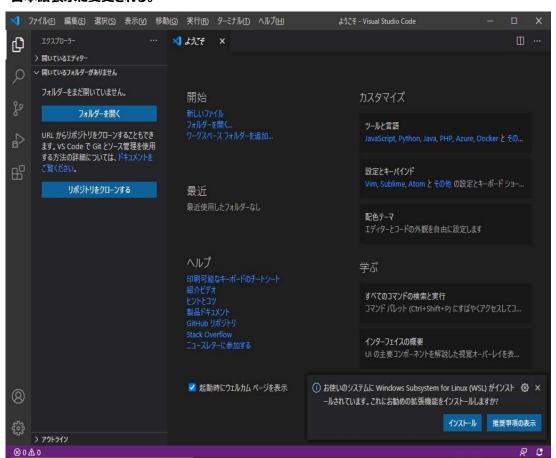
「Japanese Language Pack for Visual Studio Code」をクリック。



右下のRestart Nowをクリック



日本語表示に変更される。



④VSCodeでPythonを実行できるようにする

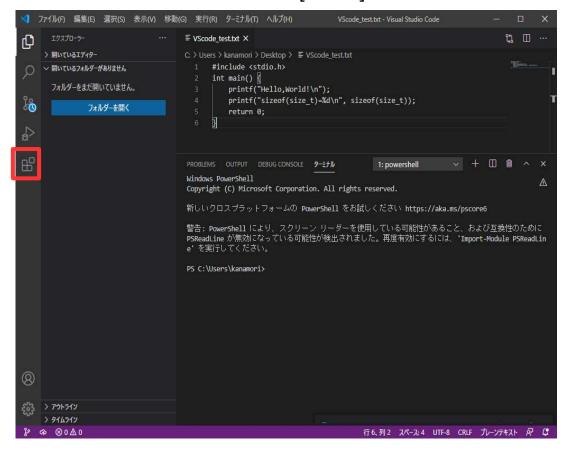
VSCodeでのPython、Jupyter実行環境の構築方法 https://qiita.com/SolKul/items/f078877acd23bb1ea5b5

i)VS Codeの拡張機能を入れる

※jupiterインストールしてある前提です。

VS Codeを立ち上げる

左端のVS CodeのビューバーでExtensions[拡張機能]のアイコンをクリック。



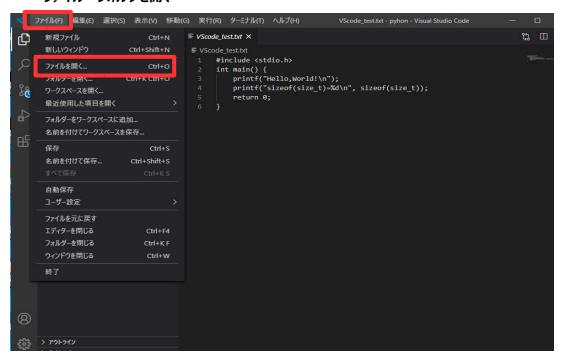
pythonと検索し、Microsoft製のPython拡張機能をインストールします。



インストール中

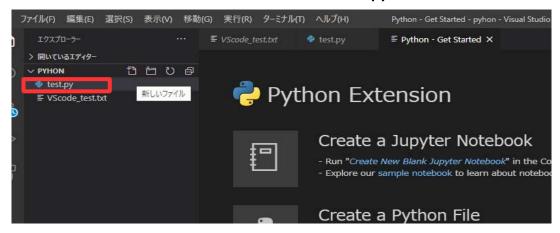


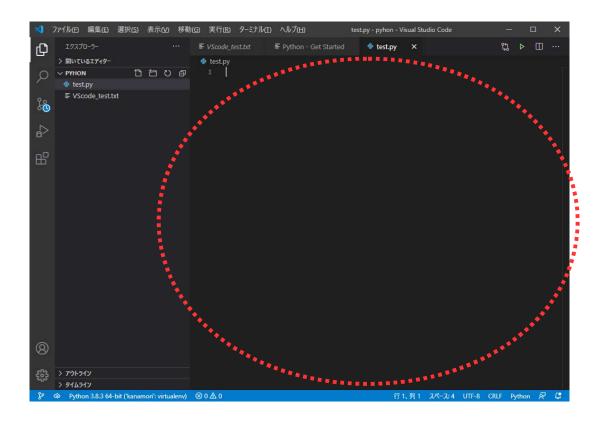
ファイル→フォルダを開く



任意のフォルダを選択して、表示されることを確認。

任意のファイルを選択し、表示されることを確認。(例はtest.pyファイル)



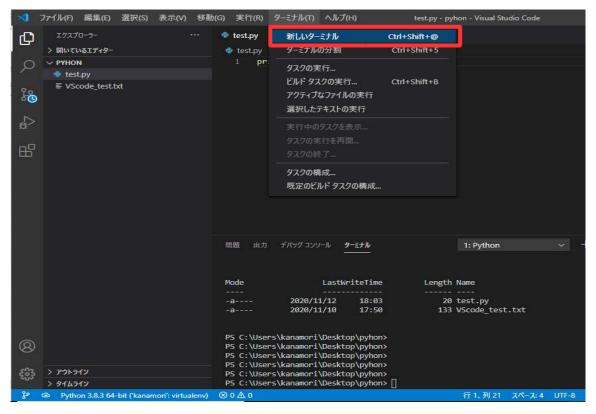


ii)Python実行環境を整える

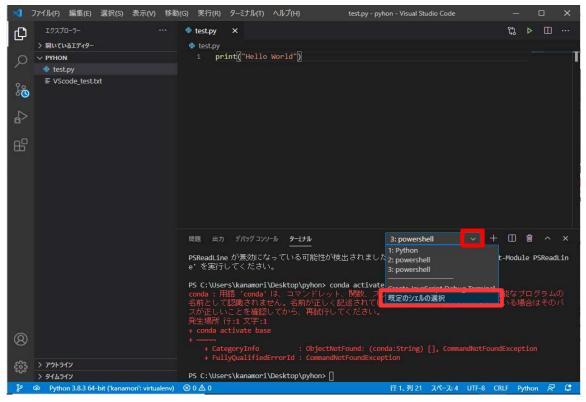
VSCodeでの実行環境(Terminal)をCommand Promptに変更します。

※これはTerminalがbashやPowerShellのままだとPythonが実行できないのでDOSに変更。 (Windowsの場合だけかもしれません)

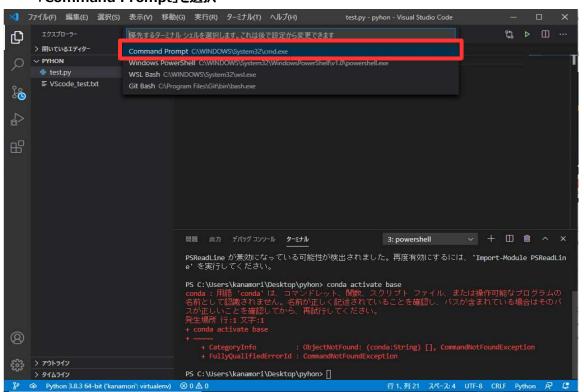
上のメニューバーから「ターミナル」>「新しい ターミナル」を選択します。



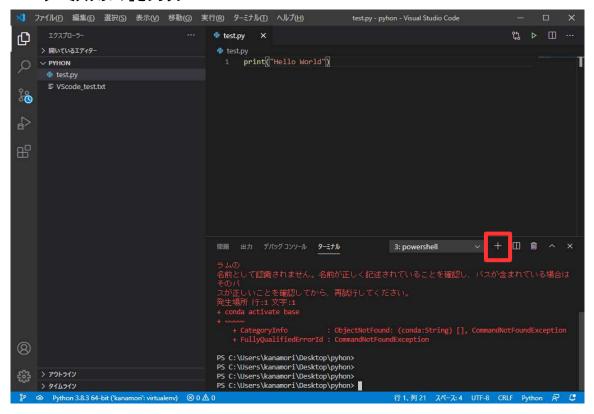
ウィンドウ右下部にターミナルが開きます。 下のターミナルの右上のプルダウンメニューから「規定のシェルの選択」を選択します。



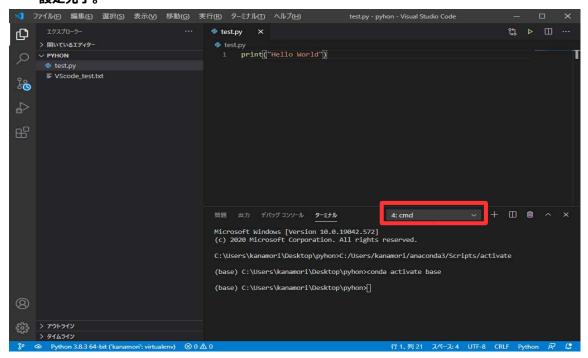
「Command Prompt」を選択



ターミナルの「+」をクリック



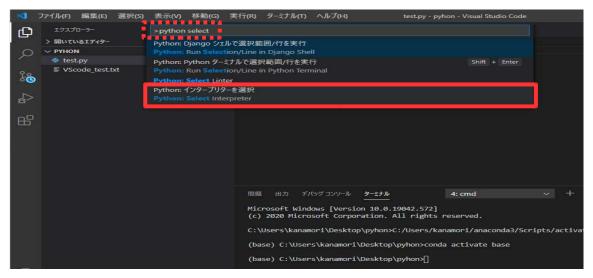
「3.PowerShell」が「4.cmd」に変わる。 設定完了。



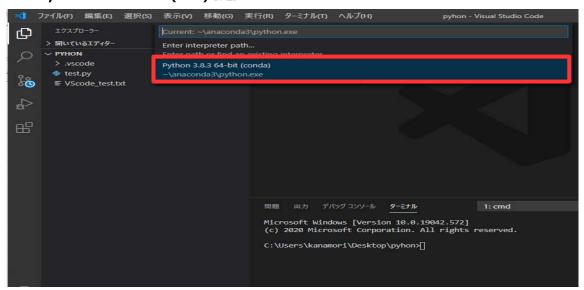
iii)Pythonインタプリタを設定

Pythonコードを実行するためのインタプリタ(実行環境)を設定します。

Ctrl+Shift+Pを押し、VSCodeのコマンドパレットを開き、「python select」と検索。「Python Select Interpreter」を選択します。



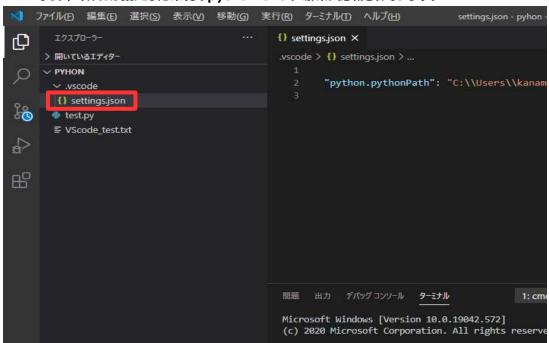
Python3.8.3 64-bit(xxx)を選択



「.vscode」フォルダをクリック



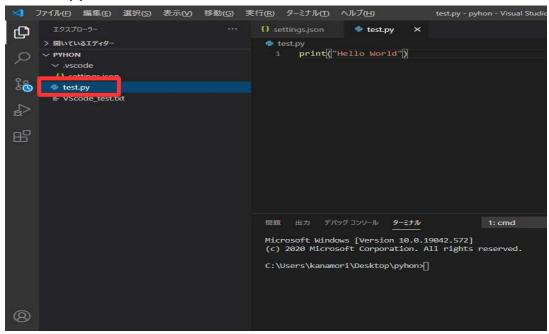
「.vscode」フォルダ内に「setting.json」というjsonファイルが作られます。 そのファイルには指定した環境のpython.exeの場所が記載されています。



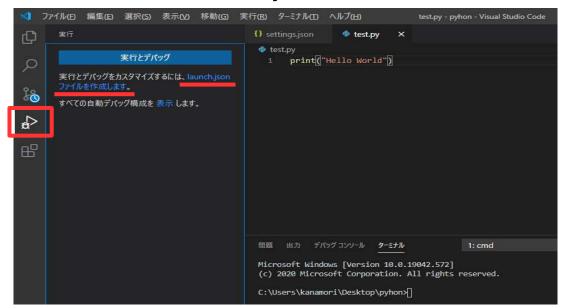
※PythonインタプリタにAnacondaの環境名が現れない → 環境変数PATHなどを設定してくださいする。 また、VSCodeがPC上のPythonインタプリタを検索しきれていない場合もあるので、VSCodeを再起動して 数秒待ってからもう一度Python Select Interpreterを選択し直すなどしてみてください。

iv)Pythonの実行環境を設定

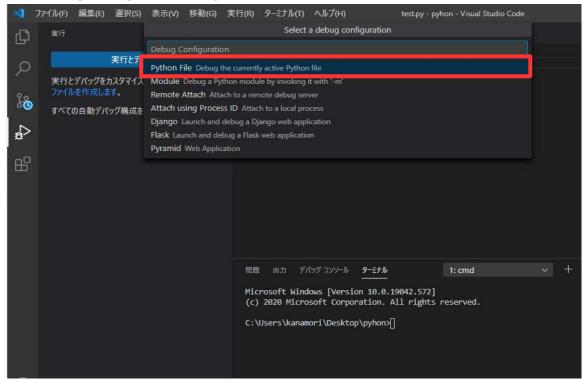
test.pyソースコードを選択(開く)



左端のサイドバーのRun (▷) をクリック。 「実行とデバック」の下の青文字「launch.jsonファイルを作成します。」をクリック。



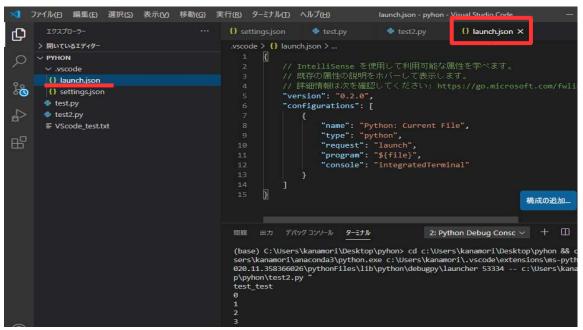
Debug Configurationで「Python File」を選択。



「.vscode」フォルダ内に「launch.json」というjsonファイルが作られます。 このファイルには、Pythonの実行設定が記載されています。

設定ファイルが作られ設定が完了。

※これ以降はVSCodeでF5キーを押すだけでPythonを実行できるようになります。



v) Jupyter Notebookの実行

データ分析する際、データの可視化がしやすいJupyter Notebookを使うことが多いため設定する。

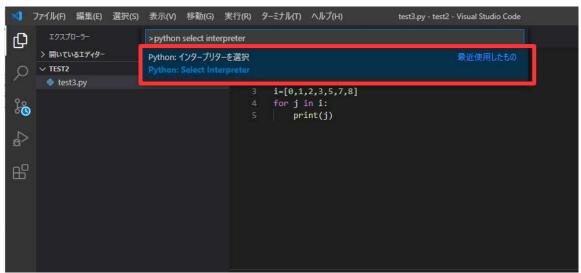
【参考】 Visual Studio CodeでJupyter Notebookを使うための準備

https://codeaid.jp/vscode-jupyter/

VSCodeのコマンドパレットを開く(Ctrl+Shift+P)



「python select interpreter」と入力。 「python select interpreter」を選択します



表示されるPython実行環境リストの中で、Jupyter Notebookがインストールされている Python実行環境(例はPython 3.8.3 64-bit(conda))を選択します。



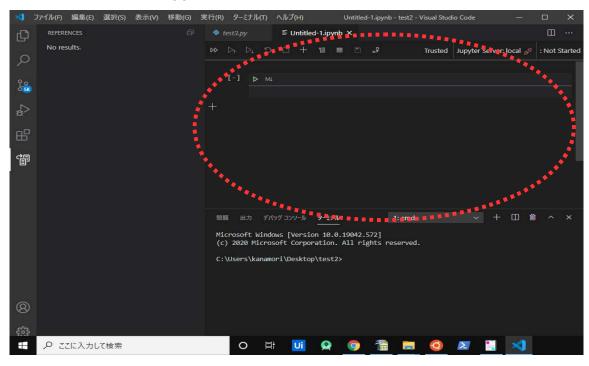
次に、ノートブックを作成します。

コマンドパレットを開き「python create new」を入力し、

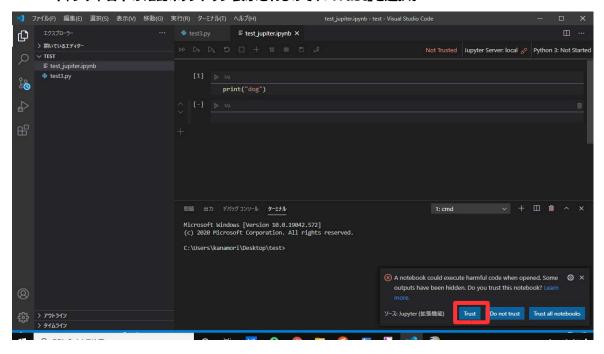
「jupyter: Create New Blank Jupyter Notebook」をクリックします。





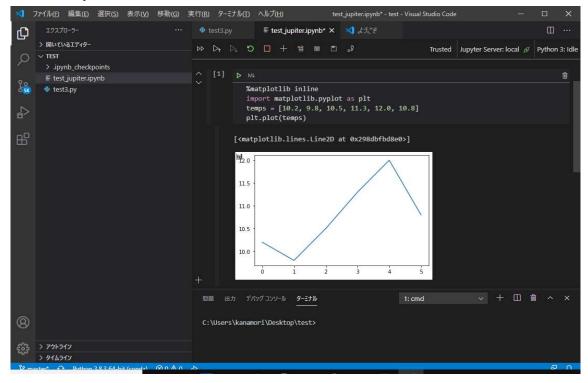


フォルダを移動して、初回のjuyterファイルを実行しようとすると、 キャプチャ右下の確認ポップアップ表示されるので、「Trust」を選択。



設定完了。

****sample**



【備考】

VisualStudioCodeとgitlabを使ってバージョン管理をしてみた備忘録 https://doubleloop.tokyo/visual-studio-code/#Visual_Studio_Codegitlabcom

Visual Studio Code (VS Code) とGitLabを連携させる https://create-fecundity.com/programming/visual-studio-code-gitlab-introduction/#toc11